

推進テーマ 園生活から小学校生活への スムーズな接続を図る



森の台小学校
森の台保育園

推進テーマ設定の理由

- ・遊ぶことも学ぶことも本質は同じことである。しかし、子どもにとっては遊ぶことと学ぶことに大きなギャップを感じている。
- ・入学直後は、保護者から離れられずに泣いている児童もいる。
- ・保育園、幼稚園等と学校は違うと認識されている。
→本来はどちらも学ぶ場所と同じである。



活動を共にする中で、園生活と学校生活をスムーズにつなげたい。

活動内容

- 5月 年間計画・顔合わせ
- 6月 顔合わせ・1年ルームや教室で遊ぶ
- 9月 シャボン玉イベント
- 10月 振り返りと今後の活動検討
- 11月 秋遊び 体育の交流
- 2月 小学校体験
音楽会交流
- 3月 ここまでの振り返り

今年度の重点課題

○交流の内容を小学校の学習にからめる

- ・どんな本を読むの？
- ・プレイルームではどんなことをして遊ぶの？
- ・生活科では何を学ぶの？

○児童と園児が一緒に楽しめる活動を取り入れる

- ・シャボン玉イベント
- ・音楽会交流イベント

活動の実際



<図書の日>

- ・ 教室では児童と園児が一緒になって、読みたい本を探して読むという活動を行った。
- ・ どんな本が読みたいか相談する場面もあり、交流する姿が見られた。
- ・ 学校と園で同じ図鑑を買ったので、交流しやすかった。

活動の実際



<プレイルームでの遊び>

- ・入学すると教室で学習するだけでなく、保育園や幼稚園と同じように遊ぶ時間もあることを体験した。
- ・児童と園児と一緒に遊ぶことで、今まで以上に仲良くなることができた。

活動の実際



<生活科・秋遊び>

- ・ 秋遊びは園児から参加したいということで実現した。
- ・ 自分たちも同じような活動をしているので、一緒に活動することができた。
- ・ 児童にとっても園児との交流は励みになるとのこと。

活動の実際



<シャボン玉イベント>

- ・一緒にシャボン玉の活動することで、児童と園児に一体感が生まれていた。
- ・この活動をきっかけにして、その後もそれぞれシャボン玉を飛ばしたり、作ったりする活動を楽しむことができた。

活動の実際



<音楽交流イベント>

- ・ 2月4日に開催予定

成果と課題

<成果>

○保育園の園児がやりたいと言っていた校庭遊び、秋遊びを一緒にやることで、お互いのモチベーションが高まり、とてもよい活動にすることができた。

○シャボン玉イベントを設定することで、児童にとっても園児にとってもその後の活動がより充実するきっかけとなった。保育園でも小学校でも秘伝のシャボン液をつかって、シャボン玉の活動を楽しむことができた。

<課題>

○保育園から小学校への接続を意識しすぎて、小学校での活動が多くなってしまった。イベント等、児童も園児も楽しんでいたが、保育園をメインにした活動を設定することも今後は考えたい。

○イベントで講師を呼ぶとお金がかかるので、今後は地域の人材などを発掘して、持続可能なイベントの在り方を考える必要がある。